



道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 656

令和6年7月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 小林 勉
定価 20 円 (会員の購読料は会費に含む)

8月10日は「道の日」

能越自動車道・のと里山海道の通行状況



国道470号能越自動車道・のと里山海道 7月17日(水) 12時から対面通行に

令和6年能登半島地震の被災により、現在、復旧作業を進めている、国道470号能越自動車道・のと里山海道について、対面通行確保の見通しを、以下の通り予定している。

【対面通行確保の見通し】
○令和6年能登半島地震の被災により、現在、復旧作業を進めている、国道470号能越自動車道・のと里山海道(のと里山空港IC～徳田大津IC)について、7月17日(水)12時から、能登大橋付近を除く全区間で対面通行となる。

○能登大橋付近は当面、片側交互通行となるが、9月末までに対面通行を確保する予定である。

○また、別所岳SAについては、今回の対面通行に合わせて、金沢方面に限り、トイレのみ利用可能となる。なお、輪島方面は、SA出入口部の被災により当面、閉鎖している。

管理	区間	距離	現在の状況	7月17日(水)12時からの状況
国	のと三井IC～のと里山空港IC	4.7km	対面通行	左記に同じ
	のと里山空港IC～穴水IC	6.2km	輪島方面への一方通行	対面通行
石川県	穴水IC～越の原IC	3.7km	輪島方面への一方通行	対面通行 能登大橋付近は当面、片側交互通行
	越の原IC～横田IC	11.8km	輪島方面への一方通行	対面通行 別所岳SAは金沢方面に限りトイレのみ利用可能
	横田IC～徳田大津IC	11.5km	輪島方面への一方通行	対面通行

※今後の余震や天候状況により遅れる可能性がある。

能越自動車道・のと里山海道の通行はご注意ください

7月17日(水)に対面通行となる予定だが、土砂崩落箇所等を迂回するために道路線形や道路勾配が部分的に悪い箇所がある。通行にあたっては、十分にご注意ください。



のと里山空港IC～穴水IC間(穴水町北七海地先)

穴水IC(オンランプを応急復旧)



越の原IC～横田IC間(七尾市中島町小牧地先)



穴水IC～越の原IC間(能登大橋付近)



別所岳SA(金沢方面に限り利用可能)



横田IC(ランプ部を活用した対面通行)

国土交通省と警察庁では、安全で快適な自転車利用環境の創出を一層進めるため、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を改定した。

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」は、自転車は車両であり車道通行が原則という観点に基づき、面的な自転車ネットワーク計画の作成方法や自転車通行空間設計の考え方等について、全国の道路管理者や都道府県警察に対して提示しており、平成24年11月に作成し、平成28年7月に改定を行っている。

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を改定

その後、自転車活用推進法が施行され、国及び都道府県が定めた自転車活用推進計画を勘案しながら、全国において自転車ネットワーク計画を位置付けた市町村自転車活用推進計画の策定が進んでいることなど、前回改定後に生じた情勢の変化を踏まえて、安全で快適な自転車利用環境の創出が一層進むよう、本ガイドラインを改定した。

ガイドライン(改定版) <https://www.mlit.go.jp/road/road/bicycle/>

高速道路における路車協調実証実験

～新東名における自動運転トラックの
合流支援等の実験車両協力者を募集～

【事前相談先・提出先】
道路局道路交通管理課 ITS推進室
TEL: 03-5253-8484
MAIL: hqt-its2020-dk@gxb.mlit.go.jp

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001820.html

令和6年度
「道路ふれあい月間」
推進標語

「渡りやす
元気な車が
歩けます」

“道路総合システムサービス”企業

NICHIREKI

ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511代表

近年、人口の減少に伴う労働力不足を背景に、物流事業者における担い手の確保が課題となっており、その解決策として自動運転の活用が期待されている。

国土交通省道路局では、新東名高速道路(駿河湾沿岸SA・浜松SA)において、深夜時間帯に自動運転車優先レーンを活用し、車両開発と連携した、路車協調による情報提供(合流支援情報、落物・工事規制情報の提供)の有効性等の検証を目的とした実証実験を実施することとしており、参加者について公募を行っている。

【募集期間】
令和6年7月1日(月)～7月31日(水)12時

【実験内容】
①合流支援情報提供の効果検証
②先読み情報(落物・工事規制等)提供の効果検証
③その他のインフラ支援に係る検証

※詳細は公募要領を参照。
【提出方法・採択方法】
申請者は、国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム(ITS)推進室に実験の内容や申請書類の作成方法等について予め相談のうえ、申請書類一式を「提出先」のメールアドレスに提出する。有識者の意見を踏まえ、国土交通省で採択を行う。